

しみの掲示板

市内で活動する団体の催しや
会員募集などを掲載しています。

問合 秘書広報課
Tel 870・0403 Fax 872・2291

●タロット&健康気功体験

タロット。体調が気になる人は気功を
日時 7月5日(土)、14日(月)、8月1日(金)午後
1時～5時 場所 市民会館 費用 2千円
問合 河原 Tel 080・4391・4080

●化石クリーニング体験

三葉虫の化石をきれいに磨く体験
日時 7月12日(土)午前11時～午後5時
場所 サーティホール 費用 500円
講師・問合 岩佐 Tel 090・5657・4222

●ペットボトルでランプの製作

日時 7月20日(日)午後1時～5時
場所 市立公民館 対象 小学生
定員 5人 費用 800円 持物 ペットボ
トル

問合 山本 Tel 819・2329

●SNOひきこもりセミナー

日時 7月25日(金)午後4時～6時
場所 市民会館 講師 有田社長、高田公
認心理師、蓮池准教授
申込 電話、ファクス、LINE
問合 寺坂 Tel 090・3167・9473

●高校生英語弁論大会

テーマを選択し英語でスピーチ
日時 9月20日(土)午後1時～5時
場所 市民会館 キラリエホール
対象 大東、四條畷、東大阪市内在住・在
学の高校生
申込・問合 8月5日までに東大阪大東畷
ライオンズクラブ Tel 813・2398

●保護猫の譲渡会

詳細は「ねこ心譲渡会」で検索
日時 毎月第2日曜日正午～午後3時
場所 COWA'S(三住町2-7)
費用 200円(3名以上の家族は1組500円)
問合 竹辺 Tel 090・9860・8875

●大東社交ダンス陸会 会員募集

日時 毎週火曜日午後2時～4時 場所
総合福祉センター 対象 市内在住の
60歳以上 費用 入会金2千円、月3千円
講師 青柳昌代(元アマスタンダードA級)
問合 米澤 Tel 872・7954

●ひまわりコーラス メンバー募集

合唱曲ポップスなどを楽しく歌う混声合
唱団です

日時 毎月第1・3水曜日午後2時～4時
場所 野崎人権文化センター 費用 1回
千円
申込・問合 齊藤 Tel 080・6138・7681
●大東市ボールルームダンスクラブ
社交ダンスの基礎など
日時 毎週木曜日午後6時30分～8時40
分 場所 住道北小学校体育館 費用
入会金2千円、月2千円
申込・問合 小林 Tel 090・3620・7347
✉ykoba840501@gmail.com

金額の記載がないものは無料。申込の記載
がないものは申込不要。開催の有無は各お
問い合わせ先へご確認ください。

掲載記事を募集しています

原稿の締め切り日
9月号:7月17日
10月号:8月20日

詳細は
こちら



ダイトンをさがせ！

答え合わせと今月のプレゼント

正解者の中から抽選で

3人にプレゼントが当たります！

6月号の隠れ場所



アンダーパスの写
真に隠れているよ



7月号のプレゼント

焼肉 大東ミラク提供

「ネギ包みタン1人前」
(1680 円)



締め切り 7月25日まで
※消印有効



焼肉 大東ミラク
氷野 1-15-21
Tel 803・7566



Instagram

はがきの場合は住所・氏名・年齢、ダイトンが隠れている場所、広報誌の感想や広報誌に
取り上げてほしいテーマなどを書いて〒574-8555 秘書広報課まで
※応募は1人1通。当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

応募は
こちら！



事業者を
募集しています！

正解者プレゼントをご提供いただける事業者を募集しています！
申込・問合 秘書広報課 Tel 870・0403

詳しくは
ホームページへ



人権のひろば

vol.303

心のバリアフリーの実現に向けて

「みなさんバリアフリーという言葉を知っていますか？」

市内の公立小学校で実施しているバリアフリー教室では、子どもたちにまずこう問いかけます。

バリアは「壁」、フリーは「取り除くこと、なくすこと」という意味で、バリアフリーとは「妨げとなるものを取り除いてより生活しやすくすること」です。

体験を通して「困りごと」に気づく

バリアフリー教室では、車いすに乘ったり押したりする「車いす体験」、目隠しをして白杖を持って歩いたり、目隠しをしている人を誘導したりする「視覚障害体験」、車いすでバスに乗り降りする「バス乗車体験」、声を使わずに筆談や空書きで相手に伝える「聴覚障害体験」など、子どもたちにさまざまな体験を通して

「人権のひろば」に対する「意見」「感想」は秘書広報課または、人権室までお寄せください。

らいます。

体験後には「体験できて良かった」「怖かった」などの感想を聞きますが、ただ感想を述べて終わるだけではなく、「どうすれば怖くなくなるか」「どこを変えたらそもそも困らないのか」「どんな助けが嬉しいか」という所まで考えてもらえるよう働きかけています。

優しさで広がるバリアフリー

例えば、車いすで上りづらい段差も、スロープがあれば上ることができます。電車が急な事故でストップした時、アナウンスが聞こえなくても電光掲示などがあれば情報を得ることができます。掲示物に英語や中国語などが併記されていれば、日本語が読めない人にも必要な情報を届けやすくなります。

このようなハード面の整備に加えて、点字ブロックの上に自転車を止めない、盲導犬を連れた人に「青になりましたよ」と信号の色を伝える、エレベーターではベビーカーや車いすの人を優先するなど、ほんの少しの

気遣いでバリアはなくなることができず。そして、一人ひとりにどのような支援や配慮が必要か考え行動することで、無関心や無理解のバリアをなくすことが「心のバリアフリー」の実現につながります。

誰もが暮らしやすい社会のために

障害のある人や高齢者だけでなく、誰もが自由に行きたい場所に行け、安全で快適に暮らせる社会をめざすために、優しさがあふれる街になるよう、まずは「何かお手伝いすることはありますか?」と、声を掛けることから始めてみませんか。



読者の声



応募フォームはこちらから



6月号の感想

3ページ目の断面図がイメージがつきやすくてわかりやすかったです (不明/10代)

特集の「地形から読み解く」コーナーが非常にわかりやすかったです (末広町/40代)

大東市は低地なので水害の危険があることが分かった (御領/50代)

ダイトンを初めて見つけられました! (氷野/30代)

水害のことを家族で知るきっかけになりました。非常持ち出し品の準備は作っていましたが、再チェックのきっかけになりました (太子田/30代)